

大田市立病院の運営に対する点検及び評価報告書
(令和5年度 運営状況)

令和6年12月

大田市立病院運営評価委員会

目 次

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価について	…1
2. 大田市立病院運営における個別評価事項	…2
3. 大田市立病院運営における令和5年度の実施状況及び結果	…4
4. 大田市立病院運営における各種数値	…10
5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿	…14
(参考)大田市立病院概要	…14

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価について

良質な医療の提供と健全な経営の確立のためには、院内組織による検討だけでなく、外部組織による客観的な評価・提言が必要である。

大田市立病院では、外部有識者からなる運営評価委員会を設置し、概ね年一回開催することとしている。

今回、令和5年度の運営状況に対する点検・評価を行ったことからその結果を報告する。

(1) 点検・評価方法

大田市立病院運営評価委員会による点検・評価

- ・委員…外部有識者8人
- ・委員会開催日…令和6年11月22日
- ・方法…委員7人による項目別点検・評価を実施(1名欠席)

【項目】

- 1) 収入増加、確保対策、
- 2) 経費節減対策、
- 3) 経営安定化対策、
- 4) その他の対策

【評価区分】

- A…目標が達成されている
- B…取り組みはしているが、現状未達成である
- C…目標が未達成である

(2) 点検・評価結果

(単位:人)

項目	評価区分		
	A	B	C
1) 収入増加、確保対策	3	4	0
2) 経費節減対策	5	2	0
3) 経営安定化対策	4	3	0
4) その他の対策	4	3	0

※表中の数字は評価した委員の人数

2. 大田市立病院運営における個別評価事項

項目	評価・改善事項
1 収入増加・確保 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度末に経営強化プランを策定したが、初年度である令和5年度は目標としていたものが達成できていない部分がある。策定時とは状況が違うところがあるため、今後ともしっかり検討してほしい。 ●診療所への訪問、ぎんざんテレビでの人間ドック紹介等、積極的に患者数増加に向けて取り組んでおり、徐々に成果が現れている項目もあると感じた。一方で、紹介患者数、入院患者数、手術件数、病床稼働率等、プランで定められた計画値から大幅に乖離している項目も多い現実もある。新型コロナウイルス感染症に関連した国・県からの補助金が無くなった状況や高齢者救急を主体にした診療体制への移行を求める診療報酬体系などにアジャストしながら、引き続き大田二次医療圏の中核医療機関としての重要な役割を担って欲しい。 ●外来部門も入院部門も様々な取り組みがなされている様だが、単年度赤字が解消されいていない。 ●病院と取り巻く昨今の状況から収入実績等の数値は厳しいものがある。このような状況ではあるが、患者確保対策、診療報酬増収等への取り組みについては、その努力が十分伺える。 ●令和4年度と比較し、いろいろな取り組みを工夫されていると感じた。 ●ベッドコントロールの実施では、病院と特養介護施設との連携で、軽症の方の予約入院に取り組まれており、外来で長時間検査、診察待ちからの入院にならず、利用者の方、施設スタッフとしても助かっている。 ●病状が悪化する前に、検査入院、治療されることで早期退院につながるなど、病院側としては、入院の確保につながる。利用者、施設側としても状態が良好になられ、施設での生活につながる。そういった取り組みをしてもらい助かっている。 ●病院としては、時間外診療、救急診療などが少しずつでも軽減し、医師の時間外勤務の負担軽減につなげていけるよう、施設側としても施設医師との連携をはかっている。 ●掲載されている項目の結果がどのように診療報酬に影響するのかもしれないと説明があると良かった。 ●その他収益の確保では、未利用地の売却など成果が出ているものもあった。補助金の活用はコロナ以外もあると思う。他の補助金も大きいものは資料に掲載してもいいのではないかなと思う。所有財産の貸し付けも同様に掲載しても良いと思う。
2 経費節減 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●必要経費だとは思いますが、無駄又は節減できるものもあると思われる。 ●それぞれの取組項目において削減に取り組んでいる。 ●人件費や採用品、薬品などの見直しなど実施され削減につながっている。 ●看護師不足の中、看護師の時間外実績が前年度より減になっていた。情報共有と記載されており具体的な方法などはわからないが、職員の心身の健康、体調管理などに気を配られていて良かった。 ●時間外勤務の縮減など、人件費の適正化に継続した取り組みを期待する。 ●人件費の適正化について、配置計画の見直しによってどのような適正化が図られるのかわからない。 ●前年度に引き続き、委託費適正化による経費節減努力が評価できる。 ●委託費の適正化はすべて実施されて成果数字があがっている。ただ、これらについても年度当初の計画時に目標数値の設定をしてもらえると評価がわかりやすい。 ●機器導入の際にしっかりと比較検討を行った上でより安価な機器を購入するなど、経費削減に努めていると思う。

項目	評価・改善事項
3 経営 安定化 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のの中核病院としての市民の期待は大きい。病院の機能が十分発揮できるよう職員の意識工場に引き続き取り組んでほしい。 ●コロナ対策で中止されていた各取り組みも再開されている。 ●継続して島根大学医学部との連携を図っている。 ●引き続き医療従事者の確保が課題。大変な苦勞だと思うが、なくてはならない病院なので、引き続きお願いしたい。 ●各種実習・見学の積極的な受け入れ等、将来の地域医療を担う人材育成にも努めている。一方、一部病棟の運用が制限されていることは、経営安定化の面でも大きな影響があると思うので、引き続き看護師の確保に向けて取り組んで欲しい。 ●医師クラークの配置、プロパー職員としての診療情報管理士の採用等、医療従事者が働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる。 ●プロパー職員の育成については、どのような取り組みがあるのか記載が欲しい。 ●赤字部門の必要性及び運用法の検討がなされるべきだと思う。 ●医師の時間外勤務について関連して、軽症の予約入院について説明はされているが、施設での様子見で、結果病院へ搬送になるケースも多い。そうならないよう施設職員も医師へ伝えるが難しい現状。以前病院側から時間外受診について市民の方へお願いされたように、施設担当医宛にそういった時間外受診にならないような要望などを提示して、病院医師などの時間外労働の大変さをもっとアピールし伝えることで、施設からの救外受診、時間外受診が少しずつでも減っていれば良いと考える。
4 その他の 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●4年ぶりの病院まつりの開催など市民に寄り添った取り組みをしている。 ●情報発信においては、SNSを活用して周知を図っている。 ●広報誌の編集内容、全戸配布やぎんざんテレビでの動画配信など積極的な広報活動は評価できる。 ●ホームページにはアンケートの意見に基づいて改善したことなどがあれば、紹介すると喜ばれる人もいるのではないかと思うし、病院に親近感が持ってください方もおられるのではないかと思う。 ●まめネットの積極的な活用、「銀の風」の全戸配布開始、ぎんざんテレビでの各診療科等からのお知らせ番組放送など、患者さんファーストの取り組みを積極的に進めている。特に、まめネットについては、大田市内医療機関等によるネットワーク推進の取組である「みかめの輪」の動きも始まっているので、引き続き大田市立病院においても活用を推進して欲しい。 ●毎年度継続して行われている患者満足度調査結果によると、依然として改善効果が見られない事柄がある。患者サービスの向上に向けて、より一層の工夫と職員の意識啓発、接遇などに取り組んでほしい。 ●患者満足度アンケートは実施することである程度意味を成すと思うが、自由意見はテキストマイニング(※)などでもう少し詳細な分析をしても良いのではないかと思う。 ●訪問看護のアンケート結果にて、ほとんどの内容で満足度が高いが、無回答なのが気になった。 ●職員接遇の満足度の評価が低下している。 ●入院された利用者から入浴できない時の対応で、清拭用の使い捨てのおしぼりみたいなのを全身拭くのに1つしか渡されず、上半身下半身を拭くのに「どうかと思った。」と話されていた。以前は熱い蒸しタオルを使用していたが、その方が入浴しない自分としては拭いた気がしてよかったですと意見を聞いたことがある。 ●病院は大田市民全体のために存在しているので、できるだけ赤字にならないようにするべきだと思う。 <p>※テキストマイニング…定型化されていない文章の集合からなるテキストデータをフレーズや単語に分解して詳細に解析し、有用な情報を抽出する分析手法。多数の意見を集約するだけではなく、少数意見に焦点をあてる分析をすることで、意見の正確な把握につながるとされる。</p>

3. 大田市立病院運営における令和5年度の取組状況及び結果

1) 収入増加、確保対策		
取組項目		令和5年度 取組状況及び結果
①患者数の確保	1 診療所への訪問や診療科案内、診療実績の送付	【◇取組状況】 ○21医療機関(11月:8医療機関、2月:13医療機関)を訪問。着任医師の紹介や診療科案内、診療実績について情報提供を行い、患者紹介の依頼を実施。 ○各診療科のアピールポイントをまとめたビラを作成し配布。 ○3ヶ月毎に手術実績、内視鏡手術・検査実績、疾患別入院患者数の統計資料と患者紹介の依頼文書を送付。 【◆取組結果】 ○紹介患者数:5,784件(対前年度比:+250件)
	2 医療機関間の連携強化	【◇取組状況】 ○主に出雲圏域からの継続加療、リハビリ目的の転院を積極的に受け入れ。 ○大田圏域外の患者のリハビリ目的での受け入れ。 【◆取組結果】 ○転院受け入れ件数:172件(対前年度比:+2件) (回復期リハビリ直入68件、地域包括ケア46件、一般58件) ○大田市圏域外からの受け入れ件数:6件(江津市、出雲市多伎町など)
	3 救急患者の積極的な受け入れ	【◇取組状況】 ○医療機関訪問を行った際に救急を含む患者の紹介を依頼。 【◆取組結果】 ○救急患者数:8,415人(対前年度比△980人) ※令和4年度は、新型コロナウイルス感染による発熱患者の救急受診急増。
	4 CTやMRIなど医療機器の積極的な活用	【◇取組状況】 ○骨折リエゾンサービスの活動に合わせ、骨密度検査依頼に対し積極的に検査を実施。 ○MRI検査の増加を図るため、昼の枠を1つ開放し予約枠をこれまでの4枠から増加。 ※骨折リエゾンチームサービスとは…骨粗鬆症の治療向上と転倒予防を目的とした多職種連携システム
	5 院内多職種及び院外関係機関との連携等による退院支援	【◇取組状況】 ○入院早期から患者・家族と面談し意向確認しながら院内多職種及び院外関係機関と連携を図り退院支援を実施。 ○患者が病院から安心・安全に在宅療養に移行し、継続できるような院外の関係者と連携し情報共有、カンファレンスを実施。 ○退院支援の質を向上させるため、退院した患者の退院支援について振り返るフィードバックカンファレンスを継続して実施。 【◆取組結果】 ○入退院支援加算の算定 ・算定件数:1,718件(算定率:50.2%) (前年度比:+194件(+8.9%)) ○退院後訪問指導の算定 ・算定件数:0件(対前年度比:△5件) ○退院時共同指導2の算定 ・算定件数:65件(対前年度比:+14件) ○介護等支援連携指導の算定 ・算定件数:174件(対前年度比:+77件) ○退院前訪問指導の算定 ・算定件数:12件(対前年度比:増減なし)

取組項目		令和5年度 取組状況及び結果
①患者数の確保	6 人間ドック・健康診断等健診事業の実施	<p>【◇取組状況】</p> <p>○人間ドックを毎週2日(火・金曜日各定員4人)継続実施。 人間ドック受検者アップのため、銀山テレビで紹介。また人間ドック・血液検診についてホームページの掲載内容をリニューアルした。 ○血液検診の継続実施。(『検診検査』を『血液検診』に名称変更) ○乳がん、子宮がん検診の継続実施。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○人間ドック ・実施件数:214件 (対前年度比: +10件) ・受託先団体:4団体 (対前年度比: △1団体)</p> <p>○血液検診 ・実施件数:0件 (対前年度比: △1件)</p> <p>○乳がん、子宮がん検診 ・乳がん検診:93件 (対前年度比: △7件) ・子宮がん検診:566件 (対前年度比: △39件)</p>
	7 訪問看護、訪問及び通所リハビリテーションの提供	<p>【◇取組状況】</p> <p>○令和3年度末(令和4年2月)より訪問リハビリテーション担当者を2名増員したサービス提供体制を継続中。 ○看取りケアや訪問看護サミット(WEB参加)等の研修参加により、訪問看護の看護の質向上・最新情報を入手。 ○病棟業務を行っている看護師を兼任で引き続き配置することにより訪問看護提供に係る体制を整備。 ○ターミナル期・医療依存度の高い利用者の積極的な受け入れにより、看護体制強化加算取得を継続。 ○30分訪問の利用者の訪問時間を柔軟に設定し、訪問件数増加。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○患者数(対前年度増減) ・訪問看護:3,568人(+30人) ・訪問リハ:1,467人(+43人) ・通所リハ:474人(+55人)</p>
②診療報酬の増収	8 がん化学療法の拡充	<p>【◇取組状況】</p> <p>○副作用パンフレットの利用や化学療法の説明と同意書の全科統一書式により、患者が安心して治療を受けられる環境を提供。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○外来化学療法加算1(450点)の算定 ・算定件数(人数):13件(10人) (対前年度比:増減なし(人数:△1人))</p> <p>○外来腫瘍化学療法診療料1(700点)の算定 ・算定件数(人数):80件(65人) (対前年度比:△30件(人数△6人))</p> <p>○外来腫瘍化学療法診療料1(400点)の算定 ・算定件数(人数):23件(22人) (対前年度比:△14件(人数:△6人))</p>
	9 リハビリ施行単位数増につながる業務の効率化	<p>【◇取組状況】</p> <p>○令和3年度末(令和4年2月)より訪問リハビリテーション担当者を2名増員したサービス提供体制を継続中。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○通所リハ算定点数:342,699点(対前年度比:△7,274点) ○訪問リハ算定点数:1,415,580点(対前年度比: +88,808点)</p>
	10 栄養管理指導・薬剤管理指導など各種指導の件数増加	<p>【◆取組結果】</p> <p>○栄養指導算定人数:1,507人(対前年度比:△108人) ○薬剤管理指導件数:3,799件(対前年度比: +479件)</p>
11 適正なベッドコントロールの実施	<p>【◇取組状況】</p> <p>○朝週2(火・木)、夕方週1(金)に、患者情報の共有を行い転棟調整を実施。 ○DPCⅡの期間を目安とした転棟調整や一般病棟から地域包括ケア病棟への転棟割合6割未満(地域包括ケア病棟入院基本料の施設基準)を目標としたベッドコントロールを実施。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○一般病棟から地域包括ケア病棟への転棟割合6割未満を医師の協力や病棟の管理強化により達成。</p>	

取組項目		令和5年度 取組状況及び結果
②診療報酬の増収	12 経営健全化検討委員会における新規基準取得に向けた検討	<p>【◇取組状況】</p> <p>○令和6年度診療報酬改定内容を踏まえて、69項目の施設基準取得について経営健全化検討委員会において議論、検討。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○主な施設基準の取得状況 (新規取得)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア加算2 ・急性期一般病棟入院基本料2 (変更申請分) ・神経学的検査 ・重症者等療養環境特別加算 ・BRCA1/2遺伝子検査 ・精神科訪問看護基本療養費 ・医師事務作業補助体制加算 ・看護職員夜間配置加算 ・麻酔管理料(Ⅰ) ・検体検査管理加算(Ⅱ)
	13 診療報酬検討委員会における適正算定、査定分析	<p>【◇取組状況】</p> <p>○院内での点検・精査の強化についての継続実施。</p> <p>○診療報酬検討委員会での査定分析。</p> <p>○査定状況を医師、担当部署に情報提供。</p> <p>○診療会議において査定分析状況の周知。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○査定率:0.35%(前年度比:△0.06%)</p>
	14 診療費支払督促強化による未収金の縮減	<p>【◇取組状況】</p> <p>○診療費支払督促文書送付の継続(114件)</p> <p>○不納欠損処理を実施(50人:93件:2,965千円)</p> <p>○会計年度任用職員を1人配置、訪問督促を引き続き実施。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○年度末診療報酬個人未収金残高:3,825千円 (対前年度末:△2,339千円)</p>
	15 DPC運用の管理徹底	<p>【◇取組状況】</p> <p>○DPC分析システムにより、3か月毎のDPCデータ分析を実施し、各診療科へのフィードバックすることで質の高い効率的な医療の提供。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○機能評価係数 0.1077(前年度:0.1160)</p> <p>※DPC制度(診断群分類包括評価制度)とは・・・病気に対して効率よく無駄のない透明性のある医療を行うことを評価するもので、基本的には、入院初期に医療資源を集中的に投入し、早く病気を治すことにある。結果的に入院期間(在院日数)は短くなり、患者さんの経済的な負担や身体的ストレスが軽減される。また、患者さんを効率よく最短距離で治療・回復をした場合に、病院の入院収益が最も大きくなるような仕組みになっている。</p> <p>※機能評価係数とは・・・DPC/PDPS(診断群分類別包括評価支払制度)に基づいて請求を算出する際、入院基本料や検査、投薬などを含む包括評価にかけ合わせる、医療機関別係数の種類。</p>
③その他収益の確保	16 病院敷地内未活用地の売却	<p>【◇取組状況】</p> <p>○残地3, 487.93㎡の売却に向けた対応。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○西側未利用地5, 483.52㎡のうち、1, 995.59㎡を隣接する社会福祉法人2団体へ売却。</p> <p>①(福)昇陽会 2筆 845.08㎡ 15,355,441円</p> <p>②(福)島根県社会福祉事業団 2筆 1150.51㎡ 21,287,477円</p> <p>○残地処分に向けた対応</p> <p>①処分隣接地(用悪水路及び下水道管理施設)の転落防止柵設置及び防草工事施工</p> <p>②処分地隣接地(公衆用道路)の市道認定協議 (建築基準法上の接道義務)</p> <p>市立病院利用者等関係各所から、公衆用道路と県道大田桜江線接続部の車両通行安全性の向上が求められていることから、市道認定を見据えた公衆用道路改良工事を令和6年度に先行して実施。</p>

取組項目		令和5年度 取組状況及び結果
③その他 収益の確保	17 国県補助金の活用	【◇取組状況】 ○補助金の活用に向けて島根県などから情報収集。 【◆取組結果】 ○国県補助金:68,546千円(対前年度比:△633,284千円)。このうち新型コロナウイルス感染症に関連した国県補助金は50,904千円。
	18 駐車場等所有財産の貸付	【◇取組状況】 ○西側未利用地の貸付け 【◆取組結果】 ○社会福祉法人2団体に売却するまでの間、それぞれの団体の職員・来客者等の駐車場利用として貸し付けを実施(令和5年5月まで16台分契約)。
2)経費節減対策		
取組項目		令和5年度 取組状況及び結果
①人件費 の適正化	19 適正な人員配置を反映した職員配置計画の見直しによる医療提供体制の最適化	【◇取組状況】 ○必要人員の確保のため職員採用試験を実施。 ○適正な配置転換等の実施。 【◆取組結果】 ○職員採用試験を実施。 ○患者数や職員の状況に応じた適正な配置転換等の実施。
	20 時間外勤務の縮減	【◇取組状況、◆取組結果】 ○看護師における変則3交替制勤務を引き続き実施。 ○衛生委員会にて各職場における時間外労働の実態について情報共有。 ○正規職員1人当たり1カ月の時間外勤務実績:9.5時間(対前年度比:△1.5時間)
②委託費 の適正化	21 業務委託内容の点検、見直しによる委託費の適正化	【◇取組状況】 ○医療事務委託業務について、毎月1回委託業者との定例会にて意見交換を実施。双方からの意見を基にした業務改善への取り組み実施。 ○個々の契約の一本化による契約額の削減交渉。 【◆取組結果】 ○昇降機保守契約について比較検討協議の結果、3,350千円/年の削減。 ○医療機器の保守について、個々の契約を一本化を追加継続することにより171千円削減。
	22 薬品や診療材料の仕入れに関する価格交渉方法の見直し	【◇取組状況】 ○ベンチマークシステム活用による業者との価格交渉。 【◆取組結果】 ○医薬品:615千円削減。(単価交渉前後による比較、概算) ○診療材料:610千円削減。(単価交渉前後による比較、概算) ※ベンチマークシステム:システムを導入している各病院から薬剤・診療材料の契約単価や購入実績データを集計し、平均単価、採用品の市場状況等が公表される。
	23 安価な同等品の活用	【◇取組状況】 ○高価な採用品を見直し、安価な製品に切替。 【◆取組結果】 ○削減額:2,383千円削減(概算)
	24 後発医薬品の積極的な活用	【◇取組状況】 ○後発品の流通状況を踏まえ、医師と調整し積極的に後発品と切替。 【◆取組結果】 ○削減額:335千円
	25 費用対効果や必要性を踏まえた医療機器の適正な購入	【◇取組状況】 ○機器選定委員会による適正機器の選定。(価格、ランニングコスト、性能等の比較検討) 【◆取組結果】 ○安価な機器の選定:超音波画像診断装置 当初(アコマ製)5,280千円→(泉工医科工業㈱製)3,888千円

3)経営安定化対策		
取組項目		令和5年度 取組状況及び結果
①医療従事者の確保	26	島根大学医学部、島根県及び地域医療支援センターとの連携 【◇取組状況】 ○島根大学医学部各教室を定期的に訪問し、医師派遣を要望。 ○島根県が主催する医療審議会等の場で医師不足を含めた地域医療の実態を説明。 ・島根県地域医療支援会議(計3回出席、WEB開催) ○地域医療支援センターが主催する県内基幹型臨床研修病院連絡会(8病院)の場で、研修医の確保・研修内容等について情報交換や意見交換。 ・令和5年6月2日、11月9日、令和6年2月16日(Web開催)
	27	大田市出身学生や研修医とのつながりを強化 【◇取組状況】 ○大田市医療政策課を交えた臨床研修推進室医師による大田市出身の医学生への面談(1回)、地域枠推薦希望の学生への面談(1回)。
	28	大田総合医育成センターの支援強化 【◇取組状況】 ○総合医療学講座、育成センター会議の事務局として、会議の開催支援。 ○育成センター医師の研究支援。
	29	医師の勤務環境改善 【◇取組状況】 ○医師クレークの配置。 ○宿直翌日の勤務負担軽減。 【◆取組結果】 ○医師クレーク(17人)の配置。 ○宿直翌日の勤務負担軽減(職免により)
②医療従事者の育成	30	研修医にとって魅力的な研修プログラムの作成 【◇取組状況】 ○研修ローテーションを指導医と相談しながらカスタマイズする。 【◆取組結果】 ○研修医よりローテーションの変更等の手続きなどを実施。
	31	医療従事者の現場実習受け入れ 【◇取組状況】 ○医学生実習の積極的な受け入れ。 ○医師以外の各職種養成学校等からの実習受け入れ。 【◆取組結果】 ○医学生実習64人を受け入れ。実習中に当院医師との交流を行った。 ○養成学校等からの実習受け入れ。 ・看護師31人、理学療法士6人、作業療法士4人、言語聴覚士5人、管理栄養士2人、救急救命士1人、医療事務1人
	32	学生の病院見学受け入れ、講演会の実施 【◇取組状況】 ○小学生の病院見学、中学生の職場体験、高校生の医療体験セミナー・インターンシップ等の受け入れ。 ○学校での出前講座等での講演。 【◆取組結果】 ○小学生・中学生の病院見学 11校・152人 ○中学生の職場体験 8人 ○高校生の医療体験セミナー 4人 ○高校インターンシップ 6人(看護部2人・リハビリ4人) ○出前講座の実施 11団体(うち学校3校)・283人
③病院経営体制の構築	33	職員の経営参画意識の向上 【◇取組状況】 ○毎月開催している診療会議において、患者状況及び収益状況等を説明。 ○部長職以上の職種で構成された部長会において、経営状況を説明。 【◆取組結果】 ○経営強化に向けた取り組みや数値目標、収支計画を定めた経営強化プランを電子カルテシステムトップページに掲載、職員に周知。
	34	病院情報・経営情報の収集、課題抽出、対策実践 【◇取組状況】 ○電子カルテシステムトップページに病院情報、経営情報の速報値を掲載し、職員の情報共有。 ○県内にある13の自治体病院での情報交換会に年3回出席、他院から情報収集。
	35	業務の特性を踏まえたプロパー職員の採用・育成 【◇取組状況】 ○プロパー職員(診療情報管理士)の採用試験を実施。 【◆取組結果】 ○令和6年4月1日付けで1名を採用。

4)その他の対策		
取組項目		令和5年度 取組状況及び結果
①患者サービスの向上	36	<p>患者満足度調査を踏まえた状況把握、分析、対策の実施</p> <p>【◇取組状況】 ○患者満足度調査を平成27年度から継続実施。 ○訪問看護満足度調査を平成25年度から継続実施。</p> <p>【◆取組結果】 ○患者満足度調査を実施。 ・期間 外来:令和5年11月13日～17日 入院:令和4年12月16日～令和5年12月11日 ・回答数:外来609人、入院57人 ○訪問看護満足度調査を実施。 ・期間:令和5年2月6日～2月20日 ・回答数:65人 ○いずれも調査報告書(別添資料)を作成し、院内外に周知。</p>
	37	<p>職員の接遇教育の継続的な実施</p> <p>【◇取組状況】 ○接遇研修会の開催(全職員対象)。</p> <p>【◆取組結果】 ○接遇研修会の開催(全職員対象)。 ・「患者さんや患者家族との円滑なコミュニケーション法」 開催日:令和6年2月8日 講師:松下 明 氏 (社会医療法人清風會 岡山家庭医療センター 奈義ファミリークリニック所長) 参加者:67名(他の職員はDVD視聴研修)</p>
	38	<p>まめネットの積極的な活用</p> <p>【◇取組状況】 ○参加・閲覧同意の普及活動(ポスター掲示、幟の設置)。</p> <p>【◆取組結果】 ○参加同意及び閲覧同意累計件数:7,946件(令和5年度末) ○新規参加同意及び閲覧同意件数:181件(対前年度比:△99件) ○当院が連携カルテを閲覧した件数:349件(対前年度比:133件) ○他院が当院の診療情報を閲覧した件数:2,998件(対前年度比:618件)</p>
②情報発信	39	<p>広報活動の推進</p> <p>【◆取組結果】 ○病院広報誌「銀の風」を4回発行。令和5年秋発行号以降、自治会回覧から全戸配布に変更。 ○ホームページ、フェイスブックによる適時な情報発信。令和5年9月よりLINEを活用した情報発信を開始。 ○ぎんざんテレビを活用した情報発信。令和6年3月以降より各診療科などからのお知らせ番組を放映(放映後ホームページにて動画配信)</p>
	40	<p>各種イベントの開催</p> <p>【◇取組状況】 ○病院まつりの開催。 ○看護の日イベントの開催。</p> <p>【◆取組結果】 ○病院まつり ・4年ぶりに開催。血管年齢や血糖・骨密度などの測定コーナーや、アロマハンドマッサージ、手洗いチェックなどの体験コーナー、おたのしみゲームコーナーなど様々なブースを設置。500名を超える多くの来場者があり、盛況であった。 ○看護の日 ・エントランスホールで看護の日の紹介や看護師の取り組みなどをポスター掲示により紹介。栄養指導のブースを設置。院内保育所園児による歌と踊りの披露・作品展示など。</p>

4. 大田市立病院運営における各種数値

■ 医療機能・医療品質、連携の強化等に係る数値(経営強化プラン(以下、プラン)P9)

(1) 医療機能・医療品質に係る項目(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
			(計画)	(実績)				
救急患者数(人)	6,123	9,395	7,000	8,415	7,000	7,000	7,000	7,000
手術件数(人)	715	703	850	685	850	850	850	850
分娩件数(件)	198	178	220	157	220	220	220	220
臨床検査件数(件)	883,091	925,154	980,860	912,911	980,860	980,860	980,860	980,860
画像診断装置稼働件数(件)	26,592	26,943	27,800	27,823	27,800	27,800	27,800	27,800
薬剤管理指導件数(件)	3,121	3,320	4,500	3,799	4,500	4,500	4,500	4,500
栄養指導算定人数(人)	1,472	1,615	1,400	1,507	1,400	1,400	1,400	1,400
リハビリ件数(人)	44,577	43,189	45,000	48,092	45,000	45,000	45,000	45,000
訪問看護患者数(人)	4,176	3,538	3,916	3,568	3,900	3,900	3,900	3,916

(2) 連携の強化等に係る目標(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
			(計画)	(実績)				
紹介患者数(人)	6,067	5,534	7,000	5,784	7,000	7,000	7,000	7,000
逆紹介患者数(人)	5,602	5,486	6,500	5,845	6,500	6,500	6,500	6,500

(3) その他の項目(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
			(計画)	(実績)				
研修医の研修受入件数(人)	7	10	9	8	8	9	9	9
人間ドック件数(件)	192	204	220	214	220	220	220	220
健康診断件数(件)	265	306	270	343	270	270	270	270
健康・医療相談件数(件)	2,320	2,603	2,500	2,679	2,500	2,500	2,500	2,500

■ 経営強化に向けた数値(プランP17)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
			(計画)	(実績)				
1日平均入院患者数(人)	163.0	157.8	190.0	164.0	190.0	190.0	190.0	190.0
1日平均外来患者数(人)	495.1	487.2	500.0	487.5	500.0	500.0	500.0	500.0
入院単価(円)	44,774	46,347	46,597	45,171	46,597	46,597	46,597	46,597
外来単価(円)	10,619	11,698	11,403	11,602	11,403	11,403	11,403	11,403
病床稼働率(%)	75.7	73.3	86.5	76.3	86.5	86.5	86.5	86.5
入退院支援加算件数	1,319	1,524	1,650	1,718	1,650	1,650	1,650	1,650
給与費対医業収益比率(%)	71.3	69.9	65.5	71.0	65.6	65.5	65.6	65.5
材料費対医業収益比率(%)	18.1	19.1	18.0	19.6	18.0	18.0	18.0	18.0
経費対医業収益比率(%)	18.4	19.4	17.5	19.2	17.6	17.6	17.6	17.6
常勤医師数(人)	33	32	33	33	33	33	33	33

※常勤医師数は各年度末人数

「常勤医師」: 病院事業管理者、常勤医師、大田総合医育成センター医師

■ 収支計画(プランP18、19)

(1) 収益的収支(プランP18)

(単位:百万円、税抜)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)	
			(計画)	(実績)					
収入	医業収益(a)	4,320	4,451	5,037	4,497	5,023	5,023	5,023	5,037
	入院収益	2,636	2,656	3,240	2,703	3,231	3,231	3,231	3,240
	外来収益	1,265	1,360	1,396	1,394	1,391	1,391	1,391	1,396
	その他医業収益	419	435	401	400	401	401	401	401
	一般会計繰入金	283	296	290	286	290	290	290	290
	その他	135	139	111	114	111	111	111	111
	医業外収益(a)	1,408	1,228	576	649	575	569	565	554
	一般会計繰入金	463	430	431	441	431	429	427	425
	その他	945	798	145	208	144	140	138	129
	特別利益(c)	5	4	0	5	0	0	0	0
収益的収入(A)=(a)+(b)+(c)	5,732	5,683	5,614	5,151	5,598	5,592	5,588	5,592	
支出	医業費用(d)	5,347	5,606	5,842	5,696	5,798	5,752	5,697	5,755
	給与費	3,082	3,111	3,297	3,191	3,293	3,290	3,294	3,299
	材料費	781	852	908	883	905	905	905	908
	経費	797	861	883	863	884	885	885	886
	減価償却費	676	772	740	744	702	658	598	647
	その他	12	10	15	15	15	15	15	15
	医業外費用(e)	262	273	285	275	282	279	276	274
	支払利息	51	49	47	46	43	40	37	34
	その他	212	224	239	229	239	239	238	239
	特別損失(f)	9	12	0	43	0	0	0	0
収益的収入(B)=(d)+(e)+(f)	5,619	5,891	6,128	6,014	6,080	6,031	5,973	6,029	
収益的収支(C)=(A)-(B)	113	△ 208	△ 514	△ 863	△ 482	△ 438	△ 385	△ 437	
減価償却前等収支(D)	797	592	223	△ 65	217	221	217	223	

※表示単位未満四捨五入の関係で、合計値と計の値が一致しない場合がある。

※外来収益及びその他医業収益、医業費用には訪問看護における収益及び費用を含む。

(2) 資本的収支(プランP18)

(単位:百万円、税込)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)	
			(計画)	(実績)					
収入	資本的収入(E)	947	365	306	311	353	312	1,014	550
	企業債	563	78	50	44	30	30	500	30
	一般会計繰入金	331	243	226	229	323	282	514	520
	その他	53	44	30	38	0	0	0	0
支出	資本的支出(F)	1,195	567	470	468	546	433	1,195	737
	建設改良費	646	120	50	49	30	30	500	30
	企業債償還金等	541	442	411	411	507	394	686	699
	その他	7	6	9	8	9	9	9	9
資本的収支(G)=(E)-(F)		△ 248	△ 202	△ 163	△ 157	△ 193	△ 121	△ 182	△ 187

※表示単位未満四捨五入の関係で、合計値と計の値が一致しない場合がある。

(3) 資金(プランP19)

(単位:百万円)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
			(計画)	(実績)				
単年度資金収支	550	390	59	△ 223	24	101	35	36
資金期末残高	536	883	903	767	932	1,035	1,073	1,114

(4) 一般会計繰入金(再掲)(プランP19)

(単位:百万円)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
			(計画)	(実績)				
収益的収入	746	726	721	727	720	719	716	715
医業	283	296	290	286	290	290	290	290
医業外	463	430	431	441	431	429	427	425
資本的収入	331	243	226	229	323	282	514	520
合計	1,077	969	947	956	1,043	1,001	1,230	1,235

【参考】(プランP19)

項目	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度		6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
			(計画)	(実績)				
経常収支比率(%)	102.1	96.6	91.6	86.2	92.1	92.7	93.6	92.8
修正医業収支比率(%)	75.5	74.1	81.3	73.9	81.6	82.3	83.1	82.5

5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿

(敬称略)

所 属	役職	氏 名	備 考
大田市社会福祉協議会	会長	知野見 清二	委員長
大田市医師会	副会長	川上 與一	副委員長
大田市議会	民生委員長	森山 幸太	
大田市自治会連合会	会長	安藤 彰浩	
病院ボランティア カーネーション	会長	森山 朝子	
大田市介護サービス事業者協議会	会長	福田 清美	
島根県県央保健所	所長	杉谷 亮	
大田市	健康福祉部長	布野 英彦	

(参考) 大田市立病院概要

病院名	大田市立病院
経営状態	地方公営企業法全部適用
所在地	島根県大田市大田町吉永1428番地3
病床数	229床(一般180床、療養45床、感染4床)
診療科目	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (計20科目) ※令和4年度以降、呼吸器外科、心臓血管外科は休診